

平成 28 年・熊本地震からの復興に向けて

平成 28 年 4 月 14 日ならびに 16 日に発生し、その後も頻回に余震が続いております、平成 28 年熊本地震に際しまして、被災されました多くの皆様方に心より厚く、お見舞いを申し上げますと共に、一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。今回の震災に際しましては、本学に対しまして卒業生、在校生ならびにその御親族、そのほか多数の皆様方や、他の大学等の研究機関の皆様方より、多方面に渡って御支援を賜りましたことに、心より厚くお礼を申し上げます。

熊本大学医学部、薬学部、大学院医学、薬学、保健学教育部ならびに大学院生命科学研究部におきましても、大きな震災の被害を受けましたが、学部ならびに大学院の学生につきまして、震災後に全員の安全の確認が取れておりますことを、まずは御報告申し上げます。講義棟の安全確認も完了し、授業も 5 月 9 日より再開されます。

また大学院生命科学研究部の教職員についても、安全が確認されておりました、全力を結集して復興に努めているところでございます。特に老朽化が進んでいる臨床医学研究棟につきましては、本年末には竣工する予定であります新棟への移転を前にして、大きな被害を受けており、多くの研究室が別の建物に緊急避難しているところでございます。研究設備につきましても、多くの高額かつ精密な研究機器に甚大な破損が生じておりました、現在、被害状況の全貌の把握と復旧に向けた取組みを実施し、一日も早く研究環境を復興させ、優れた研究を遂行することを目指しております。また多くの日本人学生および留学生が、住居の破損等による震災から逃れ身の安全を確保するために、一時的に母国や県外に避難を余儀なくされております。これらの就学に支障を来たしている、学生への経済的な支援も重要な課題として、対策を立てつつあります。

このような教育・研究環境を整えるために熊本大学では、「熊本大学基金」の中に「熊本地震復興事業基金」を設置いたしまして、大学全体あるいは特定の部局・目的等に対しまして御寄付を募り、教育と研究の一日も早い復興に充てさせて頂きたく存じます。詳細につきましては、下記のホームページを御参照くださいますことを、お願い申し上げます。

<http://www.kumamoto-u.ac.jp/kikin/fukkou/fukkou>

(「熊本地震復興事業基金」で検索することにより簡単にアクセスできます。)

我々、生命科学研究部は、教職員の総力を結集して、復興に向けて全力で取り組んでおります!! 皆様方には何卒よろしく、御支援を賜りますことを、お願い申し上げます。

平成 28 年 5 月 6 日

熊本大学大学院生命科学研究部長

西村 泰治